

# ※ 第10回 同志社 英語 プレゼンテーション大会

立石杯

2024 **9.15** (SUN) 12:00開会

同志社大学今出川校地 寒梅館ハーディーホール

**150**<sup>th</sup>  
1875-2025 ANNIVERSARY

## 参加資格

同志社法人内の小学生・中学生・高校生を対象

過去の当大会で、最優秀賞を受賞したことのない者  
なお、国際学院国際部の生徒は大会出場時の学年で応募すること。

## 発表部門

小学生の部

中学生の部 ① **D部門** Domestic Division  
② **I部門** International Division

高校生の部 ① **D部門** Domestic Division  
② **I部門** International Division

※部門の区分

**I部門** 1チームの2名以上が以下の①・②に当てはまる場合 I部門

- ① 満6歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6カ月以上、英語圏に居住した者
- ② 海外での居住地が英語圏以外であっても、6カ月以上、現地のインターナショナル・スクールやアメリカン・スクールに在籍した者(日本国内を含む)

**D部門** I部門以外の者が対象

## 発表内容・発表方法

- ① プレゼンテーションのテーマは以下のものとする  
小学生の部 **「The Power of Kindness」**  
中学生の部 **「Adapting to Change」**  
高校生の部 **「The Role of Young People in Shaping the Future」**
- ② 発表時間は小学生の部2~3分、中学生の部3~4分、高校生の部4~5分の間とする。
- ③ プレゼンテーションソフト(Powerpoint又はKeynote)を用いて、英語で行うこととする。
- ④ プレゼンテーション原稿の作成について
  - PowerPoint又はKeynoteで作成し、スライドの1枚目に「テーマ」「学校名」「学年」「氏名(グループ全員)」を記載すること。
  - スライドへのビデオ、音声の埋め込みは避けること。
  - スライドは英語表記とする。
  - アニメーション機能の使用は審査の対象とならないので、必要最低限にすること。
  - 総スライド数は20枚以内とする。(1枚目の表紙、引用文献のスライドは除く)
  - スライドは白黒、カラーのどちらも使用可能。
  - 他者の文章・記事、絵、写真、WEBサイトなどを参考にした場合、もしくは引用した場合、その出典を明示すること。
  - 発表当日の原稿訂正・削除は認めない。

## 応募方法・応募期間

同志社法人内の各学校校委会委員宛に確認してください。

## 出場者数

同志社法人内の各学校から小学生の部、中学生の部、高校生の部それぞれ2チーム以内。なお、中学生の部、高校生の部においてはD部門・I部門ごとの制限を設けない。1チームは3名構成とする。

## 表彰

小学生の部

賞状と副賞(メダル)

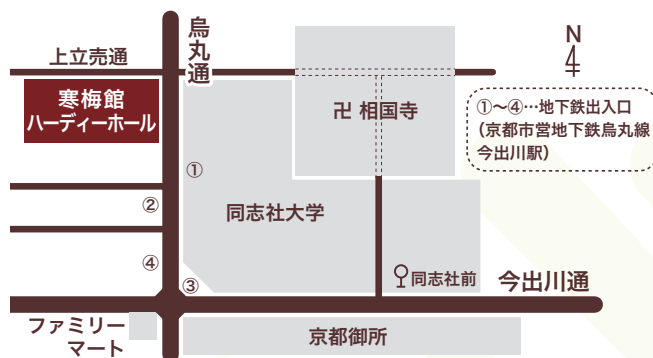
中学生の部・高校生の部

最優秀賞(立石賞)は部(中学生の部、高校生の部)ごとに1チームを表彰する。優秀賞は部門(中学生の部のD部門・I部門、高校生の部のD部門・I部門)ごとに1チームを表彰する。

最優秀賞(立石賞)・・・立石杯授与、賞状、副賞(商品券2万円(一人毎))  
優秀賞・・・賞状、副賞(商品券5,000円(一人毎))  
参加賞・・・図書カード1,000円(入賞以外全員)、同志社グッズ

※立石杯には、リボンに受賞者の学校・学年・氏名を記名のうえ、各学校において1年間保管します。

## アクセス



### ◎京都市営地下鉄

今出川駅下車②番出口より徒歩1分

### ◎京阪電車

出町柳駅下車 徒歩15分 ※キャンパスに駐車場はございません。

**大会当日はどなたでもご来場いただけます。**

主催：学校法人 同志社

# 第10回 同志社 英語プレゼンテーション大会

Presentation Contest

立石杯

## 大会趣旨

同志社は、新島襄による1875年の創立以来、建学の精神の一つに「国際主義」を掲げ、良心を手腕に運用し国際社会で活躍する人物の養成に努めてきました。同志社法人内中学校・高等学校では、学校法人同志社社友であった故立石信雄氏からの寄付金(立石ファンド)を基に特色ある国際主義教育を展開し、英語能力の向上を図るとともに国際感覚豊かで国際社会に貢献できる生徒の育成を目的として、各種プログラムを実施しています。

そのプログラムの一貫として、第10回目となる英語プレゼンテーション大会を開催いたします。英語はそれを習得すること自体が目的ではなく、あくまで意思を伝えるための手段です。プレゼンテーションを通じて、自分たちの考えを「英語」を使って他者の前で発表することにより、英語のコミュニケーション能力の向上を目指します。

より多くの皆さんがこの大会に参加されることを願っています。

## 大会概要

### ■ Opening Ceremony

開 会  
礼 拝(聖書朗読ならびに祈祷)  
主催者挨拶  
大会説明・審査委員紹介

### ■ 大会 Part 1

小学生の部  
中学生の部  
① D部門 Domestic Division  
② I部門 International Division

### ■ Ceremony

小学生の部講評及び表彰(奨励)

### ■ Judging Time

中学生の部の審査委員会

### ■ 大会 Part 2

高校生の部  
① D部門 Domestic Division  
② I部門 International Division

### ■ Judging Time

高校生の部の審査委員会

### ■ Closing Ceremony

表 彰 式(表彰及び講評)  
閉 会

## 審査項目

### 中学生の部・高校生の部

Content, Organization, Delivery, English, Time Limit

※小学生の部においては、審査は行わない。

## 審査委員

同志社大学より教員2名

同志社女子大学より教員1名

## 部会委員

出 田 涼 子	(中学校・高等学校 教諭)
皆 川 祥 吾	(中学校・高等学校 教諭)
瀬 尾 治 興	(香里中学校・高等学校 教諭)
篠 田 昌 春	(香里中学校・高等学校 教諭)
吉 村 和 浩	(女子中学校・高等学校 教諭)
市 川 良 大	(女子中学校・高等学校 教諭)
JIMMINK Devin	(国際中学校・高等学校 教諭)
KEMP James	(国際中学校・高等学校 教諭)
田 中 雅 裕	(小学校 教頭)
振 本 ありさ	(小学校 教諭)
青 田 忍	(国際学院初等部 教諭)
勝 山 沙 織	(国際学院初等部 教諭)

## 著作権の取扱いについて

大会当日のプレゼンテーション原稿については、著作権を放棄したものとします。また、当日の音声・映像の著作権は、学校法人同志社に帰属するものとします。

(音楽などの著作物を複製できることが定められている。)

主催：学校法人 同志社